

いわて
スーパーキッズ
 Superkids
 挑戦してみよう! 自分と世界に!
 挑戦の数だけ夢が叶う!
 叶えよう! 自分の夢を!



「いわてスーパーキッズ発掘・育成事業」
 プロジェクトチーム委員長 作山正美

去る3月6日、スーパーキッズ3期生の開始式が岩手大学を会場にして行われました。3期生は5年生が男子18名と女子17名、6年生が男女各1名の合計37名です。開始式の始まる直前のガイダンスにおいて、「スーパーキッズとは」というテーマで、キッズの心構え、スペシャルスクールの内容、トレーニングを行う上で大切なこと、日常生活の重要性などについて話しました。20分程の話でしたが、さすがキッズに選ばれただけあってみんな集中して聞いてくれました。このことは開始式本番でも同様で、法貴敬岩手県教育長による認定証授与の際に初々しい中にも誇らしげな態度がみられ、3期生代表の決意の言葉も立派でした。続くプログラムⅠ「オリンピック特別講演」の城西大学土江寛裕先生の特別講演では、みんな目を輝かせて聞いていましたし、午後に行われた仙台大学山内亨先生の特別講演Ⅱ「10年後のわたし」でも真剣な態度で参加していました。

世界のスポーツに話題を転じますと、今年の2月にバンクーバー冬季オリンピックが開催されま

した。アジア勢、特に韓国と中国の活躍が目覚ましい中で、日本の成績は銀メダルが3個と銅メダルが2個、もう一歩でメダルに手が届く入賞者が数名いました。日本選手団の中には残念ながら本県出身選手はいませんでした。3期生の37名はもとより、1期生65名、2期生43名の中から数多くのオリンピック選手が輩出することを期待したいものです。そのためには能力を引き出すキッズ自身の大いなる努力と、さまざまな分野の指導者の支援が必要なことでしょう。

国内では、全国でタレント発掘事業を行っている地域や競技団体を対象としたJOCによるオリンピック有望選手研修会が昨年11月、地域タレント研修会が今年1月に開催されました。いわてスーパーキッズからもオリンピック有望選手研修会に中2が6名、地域タレント研修会に中2と中1各6名が参加しましたが、主催者から体力の優れたキッズが多いと高い評価をいただきました。彼らの挑戦に大いに拍手を送りたいと思います。

ところで、中央での研修会では高い評価をいた

